

## C 協働学習 (C2)

### 主な学習活動

荒海小の歴史について調べた内容から、グループや学級全体で話し合いながら、整理・分析することにより、荒海小の伝統やよさについて考える。

### 1 本時のねらい

家族等に取材して集めた荒海小に関する情報を基に共通点や相違点を見付け、荒海小のよさや伝統に気付くことができる。

### 2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

プレゼンテーション

プロジェクタ

電子黒板

### 3 参考にしてほしいポイント

児童それぞれが調べた荒海小の歴史についての情報を、Microsoft PowerPointを用いて一つにまとめ、プロジェクタや電子黒板を用いて拡大提示して共有する。グループごとの視点で情報を整理・分析する。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	荒海小の歴史について調べた内容から、グループで荒海小の伝統やよさについて考える。	調べた内容をグループごとにMicrosoft PowerPointにまとめ、まとめた内容をプロジェクタや電子黒板で拡大表示することで、自分の調べた内容との共通点や相違点などに気付きやすくする。

プロジェクタ

+

タブレット

+

電子黒板



盆踊りはずっと若い人たちが中心になって行っているね。それも荒海のよさだね。

電子黒板



運動会は今も昔も6年生が中心となって行っていたんだね。

### 4 活用効果

多量の情報を捉えやすくするためにプロジェクタや電子黒板を用い、グループごとの視点で情報を整理・分析することで、複数の視点から情報の傾向と変化を捉え、荒海小のよさや伝統を考察することができた。

### 5 アドバイザーからのコメント

総合的な学習の時間で、地域の伝統文化や活動を調べることによって、自分たちの価値を見いだすことができます。ただし、調査しただけでは知識が定着しないので、文章や写真やイラストなどで表現する必要があり、その活動によって情報活用能力も習得できます。  
(東京工業大学 赤堀侃司)

自分たちの地域に関わる多くの情報を収集し、グループで話し合いながら分類していく活動をデジタル環境で行うことにより整理しやすくなっています。分類に際してどのような思考ツールを用いて考えるか、整理の方法についても検討を進めるとより効果が期待できそうです。  
(福島大学 平中宏典)